



2025年10月6日

各 位

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
(コード番号：3612 東証プライム)
問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
(TEL：03-6887-1300)

(訂正)「2026年2月期 中間決算説明会資料」の一部訂正について

2025年10月3日に開示しました「2026年2月期 中間決算説明会資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2026年2月期 中間決算説明会資料」の記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

「2026年2月期 中間決算説明会資料」13ページ「(株)ナルミヤ・インターナショナルを株式交換で完全子会社化した影響考察（感応度分析）」の図表記載
詳細は別紙をご参照ください。訂正箇所には赤枠を付しております。なお、訂正後の決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております (<https://corp.world.co.jp/ir/library/presentation/>)。

以 上

(別紙)

(訂正前)

PLAN-W財務・資本戦略進捗レビュー 株式交換によるナルミヤ完全子会社化のROE影響



ナルミヤ・インターナショナルを株式交換で完全子会社化した影響考察(感応度分析)

項目	前期実績		2022/9		2023/9		2023/9	
	実績	対前	実績	対前	実績	対前	実績	対前
増分	202,000	100.0%	202,000	100.0%	202,000	100.0%	202,000	100.0%
減分	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)
増減	189,800	94.0%	189,800	94.0%	189,800	94.0%	189,800	94.0%
発行済株式数*	11,705	4.4%	11,200	4.2%	11,689	4.4%	11,587	4.4%
EPS	16.22	1.0%	17.00	1.0%	16.33	1.0%	16.38	1.0%
BPS	423.22	0.0%	423.22	0.0%	423.22	0.0%	423.22	0.0%
ROE	3.8%	0.0%	4.0%	0.0%	3.9%	0.0%	3.9%	0.0%

株式交換による完全子会社化は、
当社初の株式を対価としたM&A

株式交換ポイント

株式数の増加に対して、(a)利益、
(b)資本の増加が上回るか否か

- 増資に伴う希釈化の影響は軽微**
 - 株式交換による増資を踏まえたEPSやBPS、ROEの3指標は、EPSとBPSがいずれも前期からの改善基調を保持
 - 当初計画に対しては、BPSがやや減少する反面、EPSが増加するため、ROEは13.3%と本件影響がゼロ/タイプに効
 - 発行済株式数が24.7万株増えるものの、ROEやEPSは前番・期末平均値を用いるため、希釈化影響を和らげた可能性あり
- ナルミヤの業績向上が一層重要**
 - 猶も期初で本件を実行した場合には、非支配株分の流出が減り、ナルミヤ利益貢献の拡大でROEとEPSが一段と上昇する
 - ただ、当上期は、ワールドファシリと同じく、ナルミヤの利益も計画比で弱めであり、下期以降の成長には一層努力が不可欠に
 - 希釈化の完全克服にはナルミヤ業績の向上が肝要であり、来期以降からもう一段のシナジー発掘に向けた議事を進める

(訂正後)

PLAN-W財務・資本戦略進捗レビュー 株式交換によるナルミヤ完全子会社化のROE影響



ナルミヤ・インターナショナルを株式交換で完全子会社化した影響考察(感応度分析)

項目	前期実績		2022/9		2023/9		2023/9	
	実績	対前	実績	対前	実績	対前	実績	対前
増分	202,000	100.0%	202,000	100.0%	202,000	100.0%	202,000	100.0%
減分	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)	(12,200)	(6.0%)
増減	189,800	94.0%	189,800	94.0%	189,800	94.0%	189,800	94.0%
発行済株式数*	11,705	4.4%	11,200	4.2%	11,689	4.4%	11,587	4.4%
EPS	16.22	1.0%	17.00	1.0%	16.33	1.0%	16.38	1.0%
BPS	423.22	0.0%	423.22	0.0%	423.22	0.0%	423.22	0.0%
ROE	3.8%	0.0%	4.0%	0.0%	3.9%	0.0%	3.9%	0.0%

株式交換による完全子会社化は、
当社初の株式を対価としたM&A

株式交換ポイント

株式数の増加に対して、(a)利益、
(b)資本の増加が上回るか否か

- 増資に伴う希釈化の影響は軽微**
 - 株式交換による増資を踏まえたEPSやBPS、ROEの3指標は、EPSとBPSがいずれも前期からの改善基調を保持
 - 当初計画に対しては、BPSがやや減少する反面、EPSが増加するため、ROEは13.3%と本件影響がゼロ/タイプに効
 - 発行済株式数が24.7万株増えるものの、ROEやEPSは前番・期末平均値を用いるため、希釈化影響を和らげた可能性あり
- ナルミヤの業績向上が一層重要**
 - 猶も期初で本件を実行した場合には、非支配株分の流出が減り、ナルミヤ利益貢献の拡大でROEとEPSが一段と上昇する
 - ただ、当上期は、ワールドファシリと同じく、ナルミヤの利益も計画比で弱めであり、下期以降の成長には一層努力が不可欠に
 - 希釈化の完全克服にはナルミヤ業績の向上が肝要であり、来期以降からもう一段のシナジー発掘に向けた議事を進める